

## 中部ESD拠点運営委員会（第32回）議事メモ

日 時 平成23年3月29日（火）17時00分～18時15分  
場 所 中部大学名古屋キャンパス（5階）  
出席者 竹内委員長、千頭副委員長、高山、黒岩、羽後、武者小路、山口（新海委員の代理）の各委員  
事務局 古澤、岡本

### 議 事

#### 1. 報告事項

##### 1) あいちモリコロ基金に関して

古澤事務局員より、あいちモリコロ基金への助成金申請に関して、2次審査の面接まで進んだが、惜しくも落選した旨が報告された。

##### 2) 国内RCE実務者会議について

古澤事務局員より、3月10日にRCE横浜の主催で開催された第4回国内RCE実務者会議への参加報告があった。会議では、各RCEの活動紹介に加え、RCE横浜からは、RCE横浜参加団体の具体的な活動の報告があった。また、国連「ESDの10年」国内実施計画の見直しに関するパブリックコメントの締め切りが翌日であったため、急きょ、RCE国内実務者会議としてコメントを提出することとし、内容を検討した。本年度の国内事務局はRCE北九州が担当することとなり、次回実務者会議は状況に応じて、国内RCEが集まれる場所で開催することとした。

##### 3) ESDの10年・世界の祭典 事業化ワークショップについて

古澤事務局員より、3月9日に立教大学で開催された「ESDの10年・世界の祭典 事業化ワークショップ」に関する報告があった。このワークショップは、ESDの10年・世界の祭典推進フォーラムの主催で開催されたもので、2014年のESD最終年会合を日本全体の協力により迎えるための準備を行うもの。地球環境基金の助成を受けて実施しており、今回はRCE中部との連携により、名古屋での開催を予定している旨が報告された。

#### 2. プロジェクトの進捗について

羽後委員より、サイバー対話およびi-dialogの成果のひとつとして、報告書『グローバルESD対話事業報告書 i-dialog ～持続可能な社会を創る価値観を求めて～』を地球環境基金の助成を受け、中部ESD拠点推進会議が発行したことが報告された。内容は、インターネット上の議論や、「COP10/MOP5開催地住民からのアピール要約文」などが収録されている。

#### 3. 地球市民フォーラム2011の開催について

本年秋に開催される予定の「ESDの10年・地球市民フォーラム2011」（主催：ESDの10年・世界の祭典推進フォーラム）との連携に関して、以下のように意見交換および内容の確認を行った。

- ・中部ESD拠点はモリコロ基金申請のため、共催ではなく、連携団体として参加する。
- ・モリコロ基金は落選してしまったため、プロジェクト費用はないが、多少の事務局経費の流用

は可能ではないか。

- ・日程は、9月30日に名古屋駅周辺でシンポジウム、10月1日にモリコロパークでワークショップを行う予定となっている。
- ・ワークショップでは、中部ESD拠点の参加諸団体の参加が求められているが、加えて、モリコロパークの公園マネジメント会議会員にも声をかける予定。

また、2014年のESD最終年会合に関して、愛知県が誘致活動をはじめており、竹内委員長はじめ事務局を含め、愛知県庁の担当者からヒアリングを受けていることが竹内委員長より報告された。竹内委員長より、中部ESD拠点協議会内でも2014年を見据えたプロジェクトチームを作る必要があるのではないかという旨の提案があった。今後は、国からの公募が出て、愛知県が誘致を表明したタイミングに合わせてメンバーを募集することとした。

#### 4. 「ESDの10年・世界の祭典・事業化ワークショップ」(中部開催)について

ESDの10年・世界の祭典推進フォーラムから提案を受けて中部ESD拠点を中心に、名古屋での開催を予定している次回の「ESDの10年・世界の祭典・事業化ワークショップ」について、内容や開催時期に関して議論を行った。内容は、以前にRC E岡山中で開催した会と同様に、中部ESD拠点の活動の整理や見える化を行い、2014年に向けた事業化について議論を行うもので、開催時期に関しては、6月25日を第一候補、6月4日を第2候補日とした。会場は、中部大学名古屋キャンパス6階大ホールを予約することとした。

#### 5. その他

##### ○ CBD市民ネットワークの終結総会と今後の活動について

高山委員より、CBD市民ネットワークの解散および後継組織づくりの取り組みについての報告があり、今後の中部ESD拠点との関係について下記の通り、種々議論があった。

- ・これまでにCBD市民ネットはいくつかのグループが出来上がっているが、今後の活動も全くバラバラにやるのではなく、連絡協議会的な後継組織が必要だということになっている。
- ・2020年までの生物多様性の10年と2014年までのESDが連動して動けないだろうか。
- ・事務局は名古屋に置くべきではないかという議論があり、名古屋駅周辺や中部大学が候補となっている。
- ・後継組織のミッションは明確にあるのか、また、この地域でのまとまりはあるのかが疑問。
- ・まだCBD市民ネット内での議論が固まっていないが、もしも中部大学に事務局をとることになったら、中部ESD拠点の事業として認めていただけないか。
- ・CBD市民ネットという一団体の話であるから、ここでの議論にはならないのではないか。仮に中部大学に話をする場合でも、ここで議論をしたからということは難しい。活動の面での協力は当然だが、形として事務局を中部ESD拠点の中に置くというのは筋が違うのではないか。

##### ○ 次回運営委員会の日程について

新学期前の現時点では、各委員の予定が未定であるため、メール上で日程調整を行うこととした。

以上